

2014

消防年報



嶺北消防組合

嶺北消防組合 訓

- 一、誇りと使命感を持って住民に奉仕する
- 一、人命を尊重し勇敢かつ親切に職務を遂行する
- 一、規律を厳正に保持し相互の連帯を強める
- 一、人格を磨き能力を高め自己の啓発に努める
- 一、清廉にして堅実な生活態度を保持する

～災害に強く、安全で安心して暮らせるまちへ～

[平成26年度嶺北消防組合施策方針]

1 災害防ぎょ活動体制の充実

火災はもとより、地震・豪雨等の災害に備え、迅速・的確に対応できる体制づくり。

- (1) 消防警防体制の充実
- (2) 消防施設等の整備・充実

2 防火防災体制の充実

市民の防火・防災・減災力向上を支援する取り組みや住宅防火対策を推進するとともに、消防法令に違反している防火対象物への重点的な立入検査等により、防火・防災体制の充実を図る。

- (1) 自主防火・防災・減災力の強化
- (2) 防火対象物に対する立入検査等の充実
- (3) 住宅防火対策の推進
- (4) 消防法令違反是正の推進

3 救急体制の充実

増加する救急需要に対する対応強化を図り、救急救命士の養成など救急業務の高度化を図るとともに、中・高校生を対象に救命講習を実施するなど応急手当の普及を目指す。

- (1) 救急需要への対応
- (2) 救急高度化の推進
- (3) 市民啓発の推進

4 組織体制の充実強化

ベテラン職員の培ってきた貴重な知識や経験を確実に受け継いでいくとともに、既成概念に捉われず、変化し多様化する市民ニーズを的確に捉え、柔軟な発想で市民生活の安全確保に直結する施策を進める。

- (1) 人材育成・組織活性化
- (2) 安全管理意識の徹底
- (3) 市民に身近な消防づくり
- (4) 消防庁舎の整備等

構成市の概要

あわら市



あわら市は、福井県の最北端に位置し、南は坂井市、そして北東は石川県加賀市に隣接し、北西は日本海に面しています。

平成16年3月1日に金津町と芦原町が合併してあわら市が誕生しました。面積は116.99km²で、地形は北部の丘陵地、南西部の平坦地、東部の山岳地帯と大きく3つに分かれており、南北に北潟湖が横たわり、東西には竹田川が流れています。

市の中央部にはJR芦原温泉駅とあわら温泉街を核とした二つの市街地、南部に田園地帯が広がっており、あわら温泉は古くは北陸道の宿場町として、明治期以降は県内随一の温泉街として栄え、年間を通して多くの浴客が訪れています。

あわら市は、美しい日本海、静かな湖や川、緑豊かな山々、優れた泉質の温泉、太陽をいっぱい浴びた農作物など、自然の恵みにあふれたところです。

坂井市



坂井市は、福井県の北部に位置し、南北約17km、東西約32kmにおよぶ東西に長い行政区域で、西は日本海に面し、東は勝山市、北はあわら市および石川県、南は福井市および永平寺町に接しています。

平成18年3月20日に三国町、丸岡町、春江町、坂井町の四町が合併して坂井市が誕生しました。面積は約210km²で、市の南部を九頭竜川が、東部の森林地域を源流とする竹田川が北部を流れ、西部で合流し日本海に注ぎ込んでいます。中部には福井県随一の穀倉地帯である広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地および丘陵地が広がっています。

北東部の小高い丘の上には、柴田勝豊が築城した丸岡城（別名、霞ヶ城）が現存し、日本最古の天守閣は国の重要文化財となっています。天守閣のすぐ下には、日本一短い手紙で有名な「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな 馬肥やせ」と刻んだ石碑があり、火の用心という言葉はこの手紙から生まれました。

北西部には、日本海に面して奇勝奇岩で有名な東尋坊があり、日本海と断崖絶壁の岩石が繰り成す景観と壮大さに、年間を通して多くの観光客が訪れています。

目 次

■ 消防概要

嶺北消防組合の概要	1
消防のあゆみ	2

■ 消防情勢

消防庁舎の所在地	12
嶺北消防組合組織機構図	14
平成26年度嶺北消防組合当初予算	
1. 歳入	15
2. 歳出	15
3. 分担金の内訳	15
消防職員状況	
1. 消防職員の配置状況	16
2. 消防職員年齢状況	16
3. 消防職員勤続年数	16
4. 消防職員教養等実施状況	17
消防音楽隊	18
消防施設	
1. 消防機械	19
2. 現有消防水利	21

■ 予防関係

建 築	
1. 月別建築同意件数	22
2. 用途別建築同意件数	22
防火対象物数	23
消防用設備等設置状況	24
危 険 物	
1. 危険物施設設置状況	27
2. 危険物関係事務処理状況	27
3. 消防手数料徴収状況	27
各種届出処理状況	28
防火管理者資格付与講習会実施状況	28

■ 通信関係

消防緊急通信指令施設関係	
1. 指令運用・支援情報	29
2. 無線電話	29
3. 119番受付状況（月別）	30

■火災統計

火災概況	31
市別火災状況過去5ヶ年の推移	32
市別・月別火災発生状況	32
原因別火災発生状況	33
用途別火災発生状況	33

■救急統計

過去5ヶ年の推移及び市別出場件数	34
管轄別・事故種別救急状況	35
管轄別・月別救急状況	36
覚知別・事故種別出場件数	37
救急隊員の行なった応急処置件数	37
救急講習会実施状況	38

■救助統計

救助概況	39
救助出場推移	40

■消防団

消防団組織機構図	41
消防団員数	41
消防団員勤続年数	42
消防団員年齢状況	42
保有消防車両一覧	43
消防団員の報酬	44

■関係団体

婦人防火クラブ・婦人消防隊	45
幼年・少年消防クラブ	46
嶺北防火協会	47

消防概要

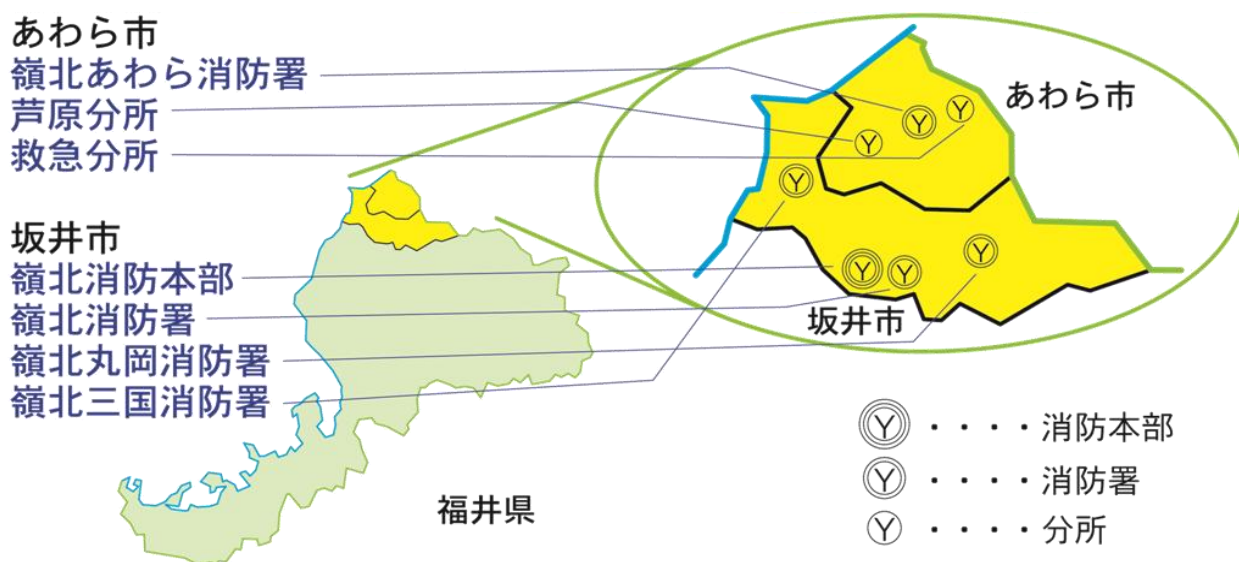
消防概要

嶺北消防組合の概要

嶺北消防組合は、福井県トップを切って昭和44年7月24日に春江町、坂井町の2町による一部事務組合として呱呱の声をあげた。その後、昭和45年4月1日に金津町が加入し、また平成の大合併により平成16年3月1日に金津町、芦原町が合併してあわら市が誕生し、平成18年3月20日には三国町、丸岡町、春江町、坂井町が合併して坂井市が誕生、現在は2市により構成されている。

当組合は福井県の北端にあたり、西部に九頭竜川、北部に竹田川の各河川があり、古代より坂井平野は広大な農業地帯として発展してきた。また合併によって誕生した坂井市には、日本最古の天守閣「丸岡城」をはじめ、日本随一の奇勝として名高い「東尋坊」などの観光名所があり、またあわら市には福井県屈指の温泉街がある。

北東は石川県に接し、西は日本海に面し、東は永平寺町、南は福井市に隣接している。交通面では南北にJR北陸線、えちぜん鉄道三国芦原線、国道8号線ならびに北陸自動車道が走り、主要地方路の県道福井・加賀線、福井・金津線が縦断し、交通には極めて便利である。県下唯一の空の玄関「福井空港」も昭和42年より設置されている。都市郊外特有の現象として工場・住宅等が急増した地域である。当組合は本部を中心に4消防署と2分所を有し、こうした農村部、都市部の各地域住民の安全の為、日夜活動を続けている。



	面積(km ²)	世帯数(世帯)	人口(人)	備考
あわら市	116.99	9,992	29,529	世帯数・人口数は 平成26年4月1日 現在
坂井市	209.91	30,476	93,818	
合計	326.9	40,468	123,347	

消 防 の あ ゆ み

昭和44年7月	<p>嶺北消防組合設立</p> <p>広域消防体制確立のため春江町と、坂井町の2町により消防一部事務組合の設立 が許可され嶺北消防組合として発足した。</p> <p>昭和44年 嶺北消防組合議会定例会開催</p>
8月	<p>嶺北消防本部・署開設</p> <p>嶺北消防組合初代消防長に春江町長の三寺利兵衛氏が就任</p> <p>初代嶺北消防署長に木村 驥 就任</p> <p>消防業務、救急業務開始</p> <p>消防職員定数、消防吏員30名、消防吏員以外の職員2名とする。</p> <p>消防団員定数192名 化学消防自動車1台 タンク付消防車1台</p> <p>救急車1台 消防ポンプ自動車6台(団) 連絡車1台</p> <p>小型動力ポンプ付積載車8台(団) 小型動力ポンプ1台</p> <p>消防無線機(基地局1、移動局1、携帯2)</p>
昭和45年3月	<p>日本損害保険協会より救急自動車1台寄贈</p> <p>昭和45年 嶺北消防組合議会定例会開催</p>
昭和45年4月	<p>金津町加入</p> <p>嶺北消防組合に金津町が加入する。</p> <p>嶺北金津消防署を開設し、組合の組織は1本部、2署の事務機構となる。</p> <p>消防職員定数改正消防吏員50名、事務職員2名、消防団員324名となる。</p> <p>消防自動車13台(団12台) 化学消防車1台 タンク付消防車1台</p> <p>救急車3台 連絡車2台 小型動力ポンプ付積載車8台</p> <p>小型動力ポンプ9台(団8台) 消防無線機(基地局2、移動局3、携帯4)</p> <p>初代嶺北金津消防署長に徳田忠信 就任</p>
7月	<p>福井空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定締結</p> <p>福井県(福井空港管理事務所)と嶺北消防組合における消火救難活動に関する協定 締結</p>
12月	<p>嶺北消防本部署庁舎竣工</p> <p>鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨平屋建)</p> <p>敷地面積 514.86㎡ 建築面積 220.59㎡ 延面積 501.97㎡</p>
昭和46年3月	<p>昭和46年 嶺北消防組合議会定例会開催</p>
昭和46年4月	<p>3・8連続放火事件解決</p> <p>45年10月頃から福井市周辺で発生した連続放火事件は64件(管内15件)官民一体 の強力な特別警戒で46年4月事件の解決をみた。</p>
6月	<p>指揮車購入、本部に配置</p>
11月	<p>化学消防自動車購入、嶺北金津消防署に配置</p>
昭和47年2月	<p>昭和47年 嶺北消防組合議会定例会開催</p>
昭和47年4月	<p>消防職員定数条例が改正され、消防吏員50名、事務職員4名となる。</p> <p>第二代嶺北金津消防署長に佐藤 廣 就任</p>

昭和47年4月	防火査察の強化に伴い赤バイ2台購入、各署へ配置
5月	消防音楽隊結成、隊長以下15名 講師委託1名
8月	嶺北消防組合章制定 小型動力ポンプ積載車購入、金津第2分団に配置 消防自動車の出動待機に関する協定締結 福井空港における航空機の事故等に対する消防体制強化のため化学消防自動車の出動待機依頼協定
昭和48年3月	昭和48年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和48年4月	赤バイ(50cc)1台購入、嶺北消防署に配置
10月	高速自動車国道北陸自動車道における消防および救急業務応援協定締結 協定市町村(加賀市、丸岡町、嶺北消防組合)
11月	嶺北金津消防署庁舎竣工 鉄筋コンクリート造3階建、車庫鉄骨造平屋建 敷地面積 1,910.65㎡ 建築面積 453.76㎡ 延面積 997.23㎡
昭和49年3月	昭和49年 嶺北消防組合議会定例会開催 芦原ライオンズクラブ金津支部より赤バイ(50cc)1台寄贈される。 嶺北金津消防署に配置 福井空港災害特別警備に大型化学消防車購入、嶺北消防署に配置
昭和49年4月	第三代嶺北金津消防署長に伊藤良太 就任
10月	消防ポンプ自動車購入、金津第5分団に配置 小型動力ポンプ購入、春江第4分団に配置
昭和50年3月	昭和50年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和50年7月	小型動力ポンプ購入、嶺北消防署、坂井第4分団に配置
昭和51年3月	昭和51年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和51年6月	消防相互応援協定締結 嶺北消防組合と加賀市消防本部が防災体制の充実を図る為越県協定締結
7月	消防ポンプ自動車購入、嶺北金津消防署に配置 広報車購入、嶺北消防署に配置
昭和52年3月	昭和52年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和52年5月	小型動力ポンプ4台購入、坂井第1分団、坂井第2分団、坂井第3分団、坂井第4分団に配置
7月	小型動力ポンプ積載車購入、金津第4分団に配置 坂井郡消防相互応援協定締結 協定市町村(三国町、芦原町、丸岡町、嶺北消防組合)
12月	日本損害保険協会より救急自動車1台寄贈される。 嶺北消防組合消防本部署庁舎増改築工事落成 鉄筋コンクリート造3階建 敷地面積 657.90㎡ 建築面積 357.40㎡ 延面積 953.75㎡
昭和53年1月	第二代消防長に木村 驥 就任
3月	昭和53年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和53年9月	小型動力ポンプ積載車購入、春江第3分団及び金津第7分団に配置

昭和53年10月	日本防火協会より春江町連合婦人防火クラブに防火広報車1台寄贈される。
11月	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈される。 嶺北消防署に配置
昭和54年3月	消防庁長官表彰(竿頭綬) 昭和54年 嶺北消防組合議会定例会開催
6月	広報車購入、嶺北金津消防署に配置
8月	小型動力ポンプ積載車購入、春江第5分団に配置
9月	日本防火協会より救急車1台寄贈される。 嶺北消防署に配置
昭和55年3月	昭和55年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和55年9月	小型動力ポンプ購入、春江第2分団に配置 小型動力ポンプ積載車購入、金津第6分団に配置
10月	消防ポンプ自動車購入、坂井第4分団に配置 第二代嶺北消防署長に東 健一 就任 第四代嶺北金津消防署長に坪田 武 就任
12月	昭和55年 嶺北消防組合議会臨時会開催
昭和56年1月	56豪雪(雪害対策本部設置)
2月	日本消防協会より春江町連合婦人消防隊に軽可搬ポンプ1台寄贈される。
3月	昭和56年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和56年6月	指揮車購入、嶺北消防署に配置
7月	56集中豪雨(水害対策本部設置)
9月	小型動力ポンプ購入、嶺北金津消防署に配置
昭和57年3月	救助工作車購入、嶺北消防署に配置 昭和57年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和57年5月	査察車購入、嶺北消防署に配置
8月	小型動力ポンプ購入、春江第3分団、金津第2分団、金津第8分団に配置
12月	積載車購入、嶺北消防署に配置
昭和58年3月	昭和58年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和58年12月	消防ポンプ自動車購入、金津第8、9分団に配置
昭和59年3月	日本自動車工業会より救急車(2B型)が寄贈される。 昭和59年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和59年4月	嶺北金津消防署に救助訓練塔を設置する。 第三代嶺北消防署長に木村 驥 就任 第五代嶺北金津消防署長に東 健一 就任
9月	昭和59年 嶺北消防組合議会臨時会開催 嶺北消防組合職員定数条例が改正され、消防吏員57名となる。 北陸自動車道金津インターチェンジ供用開始に伴い、金津町熊坂に救急隊常駐の分所を開設、救急車1台を配備し高速道路における救急業務を開始する。
昭和60年1月	嶺北消防本部庁舎(別館)新築工事落成 鉄骨造3階建 敷地面積 783.25㎡ 建築面積193.35㎡ 延面積 566.88㎡

昭和60年3月	消防ポンプ自動車(BD- I)購入、嶺北消防署に配置 嶺北消防署に救助訓練塔を設置する。 昭和60年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和60年8月 昭和61年3月	日本消防協会より救急車(2B型)が寄贈される。 消防庁長官表彰(表彰旗) 昭和61年 嶺北消防組合議会定例会開催 嶺北消防組合救急分所新築工事落成(金津町下金屋) 鉄骨造平屋建 敷地面積 567.0㎡ 建築面積 171.92㎡ 延面積 159.92㎡
昭和62年2月 3月	消防ポンプ自動車(BD- I)購入、嶺北金津消防署に配置 消防ポンプ自動車(BD- I)購入、坂井第2分団、坂井第3分団に配置 昭和62年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和63年1月 3月	消防科学総合センター(救急基金)より、救急車(2B型)が寄贈される。 嶺北金津消防署に配置 消防ポンプ自動車(BD- I)購入、金津第3分団に配置 福井県市町村消防相互応援協定締結 昭和63年 嶺北消防組合議会定例会開催
昭和63年5月 8月 10月	福井県水防演習参加(春江・坂井・金津消防団参加) 日本損害保険協会より、水槽付き消防ポンプ自動車(A- I)寄贈される。 嶺北消防署に配置 日本消防協会より、指令広報車、電源照明車寄贈される。 嶺北金津消防署、嶺北消防署に配置 春江町婦人消防隊、全国婦人消防操法大会に出場
昭和64年1月 平成元年3月	水槽付き消防ポンプ自動車(A- I)購入、嶺北金津消防署に配置 平成元年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成元年4月 8月 10月 11月 平成2年2月 3月	第四代嶺北消防署長に竜田清市 就任 第六代嶺北金津消防署長に多田健夫 就任 消防ポンプ自動車(CD- I)購入、春江第1分団に配置 嶺北消防組合設立20周年記念防火音頭制定される。 嶺北消防組合設立20周年記念式典挙行 消防ポンプ自動車(BD- I)購入、春江第3分団に配置 日本消防協会より春江消防団に対し、特別表彰『まとい章』が授与される。 平成2年 嶺北消防組合議会定例会開催 嶺北消防組合職員定数条例改正、事務職員5名
平成2年8月 10月 平成3年1月 3月	日本消防協会より救急車(2B型)が寄贈される。救急分所に配置 日本防火協会より広報車が寄贈される。嶺北消防署に配置 消防ポンプ自動車(CD- I)購入、坂井第1分団に配置 マイクロバス(28人乗り)購入 消防本部に配置 福井県農協共済福祉事業団より救急車(2B型)が寄贈される。 嶺北消防署に配置 平成3年 嶺北消防組合議会定例会開催

平成3年3月	嶺北消防組合職員定数条例改正、12名増員、消防吏員69名
平成3年4月	第七代嶺北金津消防署長に道地善徳 就任
11月	小型動力ポンプ(C-I)3台購入 坂井第1分団、坂井第2分団、坂井第3分団に配置
	消防ポンプ自動車(BD-I)3台購入 春江第2分団、春江第5分団、金津第7分団に配置
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、嶺北消防署に配置
平成4年3月	平成4年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成4年4月	第三代消防長に東 健一 就任
8月	平成4年 嶺北消防組合議会臨時会開催 嶺北消防組合火災予防条例の一部を改正する条例等が議決された。
10月	消防ポンプ自動車(BD-I)2台購入、春江第4分団、金津第1分団に配置
平成5年3月	平成5年 嶺北消防組合議会定例会開催 嶺北消防組合職員定数条例改正、12名増員、消防吏員81名
平成5年12月	消防ポンプ自動車(BD-I)購入、金津第6分団に配置
平成6年2月	化学消防車2台購入、嶺北消防署、嶺北金津消防署に配置
3月	平成6年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成6年4月	第五代嶺北消防署長に杉田道雄 就任
	第八代嶺北金津消防署長に平田一郎 就任
8月	嶺北消防本部庁舎(別館)増改築工事落成 鉄骨造3階建 敷地面積 783.25㎡ 建築面積 292.39㎡ 延面積 665.92㎡
10月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
11月	積載車購入、嶺北消防署に配置
平成7年1月	阪神・淡路大震災救出活動に3隊12名派遣
3月	平成7年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成7年4月	第四代消防長に春江町長の坪田儉治氏が就任
	第九代嶺北金津消防署長に吉田照夫 就任
	救急救命士1名誕生
10月	救急救命北九州研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
平成8年2月	日本消防協会より春江消防団に対し、特別表彰「表彰旗」が授与される。
3月	日本損害保険協会より、高規格救急車が寄贈され、高度救命用資機材(心電図伝送受信装置等)を整備、嶺北消防署に配置
	消防緊急通信指令システム導入
	平成8年 嶺北消防組合議会定例会開催 嶺北消防組合職員定数条例改正、消防吏員82名、事務職員4名
平成8年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
6月	連絡車購入、嶺北消防署に配置 救急救命士2名となる。
7月	福井県市町村消防総合応援協定締結(昭和63年応援協定については廃止)
10月	福井県防災航空隊発足に伴い、職員1名派遣

平成8年12月	消防ポンプ自動車(CD- I)2台購入、嶺北金津消防署と金津第8分団に配置 消防ポンプ自動車(BD- I)1台購入、坂井第4分団に配置 救急救命士3名となる。
平成9年1月	三国町安島沖に座礁したロシアタンカー「ナホトカ号」重油流出事故により、海岸に重油が漂着し、消防職・団員が回収作業にあたる。
3月	防災資機材を整備、各分団等に配置 平成9年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成9年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 第五代消防長に平田一郎 就任
6月	福井県市町村消防相互応援協定に関する覚書(丸岡町消防本部)
7月	連絡車購入、嶺北金津消防署に配置
11月	消防ポンプ自動車(CD- I)購入、嶺北金津消防署に配置 消防ポンプ自動車(BD- I)購入、金津第5分団に配置
12月	救急救命士4名となる。
平成10年1月	防災資機材を整備、各分団車庫等に配置
2月	指揮車購入、嶺北消防署に配置
3月	日本消防協会より救急車が寄贈され、嶺北金津消防署に配置 平成10年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成10年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
7月	指揮車購入、嶺北金津消防署に配置
8月	福井震災50周年に伴い、管内各町で防災訓練の実施
12月	救急救命士5名となる。
平成11年2月	嶺北消防本部庁舎(別館)増築工事落成 鉄骨造3階建 敷地面積 783.25㎡ 建築面積 331.73㎡ 延面積 705.26㎡
3月	はしご付き消防ポンプ自動車購入、嶺北消防署に配置 平成11年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成11年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
5月	組合設立30周年記念式典開催
12月	救急救命士6名となる。
平成12年3月	平成12年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成12年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	救急救命士7名となる。
平成13年3月	平成13年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成13年4月	救急救命北九州研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
7月	救助工作車購入、嶺北金津消防署に配置
12月	救急救命士8名となる。
平成14年3月	平成14年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成14年4月	第六代嶺北消防署長に青柳利夫 就任 第十代嶺北金津消防署長に小林幸典 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)

平成14年12月	救急救命士9名となる。
平成15年3月	平成15年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成15年4月	第六代消防長に吉田照夫 就任 次長に青柳利夫 就任 第七代嶺北消防署長に小林幸典 就任 第十一代嶺北金津消防署長に黒川又利 就任 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
8月	福井県市町村消防相互応援協定に関する覚書(福井地区消防本部)
10月	福井空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定に基づく覚書(福井空港事務所)
12月	救急救命士10名となる。
平成16年1月	坂井郡消防相互応援協定の廃止
3月	金津町と芦原町の合併に伴い、あわら市となる。 嶺北消防組合に芦原町消防本部が加入する。 嶺北芦原消防署を開設し、組合の組織は1本部、3署、1分所の事務機構となる。 嶺北消防組合職員定数改正、消防吏員112名、事務職員4名、消防団員439名となる。 救急救命士14名となる。 初代嶺北芦原消防署長に坂井幹夫 就任 福井県市町村消防相互応援協定に関する覚書(三国町消防本部) 平成16年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成16年4月	福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成19年3月まで) 救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
7月	福井県を襲った豪雨による被災地を消防職・団員がボランティアとして復旧作業にあたる。
12月	救急救命士15名となる。
平成17年3月	平成17年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成17年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
12月	救急救命士16名となる。
平成18年2月	日本消防協会より指令車が寄贈され、嶺北消防本部に配置
3月	春江町、坂井町、丸岡町及び三国町の合併に伴い、坂井市となる。 嶺北消防組合に丸岡町消防本部と三国町消防本部が加入する。 嶺北丸岡消防署と嶺北三国消防署を開設し、組合の組織は1本部、5署、1分所の事務機構となる。 嶺北消防組合職員定数改正、消防吏員202名、事務職員4名、消防団員773名となる。 救急救命士32名となる。 政策監に林田康廣 就任 第十二代嶺北金津消防署長に坂井幹夫 就任 第二代嶺北芦原消防署長に西端和雄 就任 初代嶺北丸岡消防署長に山田忠雄 就任 初代嶺北三国消防署長に木綿谷正夫 就任

平成18年5月	平成18年 嶺北消防組合議会定例会開催
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 中型バス購入(42人乗り)、嶺北消防本部に配置
平成19年3月	平成19年 嶺北消防組合議会定例会開催
3月	能登半島地震に伴い、福井県緊急消防援助隊として、被災地(石川県輪島市)へ消火部隊・救助部隊の各一隊、延べ18名の職員を派遣
平成19年4月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成) 福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成22年3月まで)
5月	救急救命士33名となる。
6月	救急救命士34名となる。
10月	指揮車購入、嶺北消防本部に配置
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第10分団に配置
平成20年2月	消防ポンプ自動車(CD-II)購入、嶺北消防署に配置
3月	高規格救急車購入、嶺北金津消防署に配置
3月	平成20年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成20年4月	政策監に小林幸典 就任 第八代嶺北消防署長に西端和雄 就任 第三代嶺北芦原消防署長に土田昭廣 就任
6月	福井震災60周年に伴い、大規模な組合総合訓練を坂井市にて実施
12月	日本消防協会より多機能型消防自動車が交付され、あわら第1分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第9分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第14分団に配置
平成21年1月	消防ポンプ自動車(I-B型)購入、嶺北三国消防署に配置
3月	平成21年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成21年4月	第七代消防長に小林幸典 就任 次長に西畑幹夫 就任 第十三代嶺北金津消防署長に土田昭廣 就任 第四代嶺北芦原消防署長に高嶋敏勝 就任 第二代嶺北丸岡消防署長に大谷繁一 就任 第二代嶺北三国消防署長に原 清実 就任
5月	救急救命士35名となる。
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
10月	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練・近畿府県(2府7県)合同訓練を坂井市にて実施 組合設立40周年記念式典開催
12月	水槽付消防ポンプ自動車(I-B型)購入、嶺北消防署に配置
平成22年1月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第4分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第12分団に配置
平成22年3月	嶺北三国消防署耐震改修工事完成

平成22年3月	平成22年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成22年4月	次長に西端和雄 就任 第九代嶺北消防署長に末廣義章 就任 第五代嶺北芦原消防署長に東川順仁郎 就任 第三代嶺北丸岡消防署長に松川隆作 就任 福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成25年3月まで)
12月	(財)救急振興財団より救急普及啓発広報車が寄贈される。
平成23年1月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第5分団に配置
2月	総務省消防庁より支援車I型が無償貸与される。 嶺北消防本部移転改修工事完成
3月	高機能消防指令センター整備 高機能消防指令センター運用開始式 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、福井県緊急消防援助隊として、被災地(岩手県陸前高田市)へ、消火部隊・救急部隊・後方支援部隊の各1隊、延べ38名の職員を派遣
	平成23年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成23年4月	第八代消防長に西端和雄 就任 次長に東川順仁郎 就任 第十四代嶺北金津消防署長に吉村博樹 就任 第六代嶺北芦原消防署長に山崎清春 就任 第三代嶺北三国消防署長に山下巧太郎 就任
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
11月	消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第7分団に配置 消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第10分団に配置
12月	高規格救急車購入、嶺北消防署に配置
平成24年3月	高規格救急車購入、嶺北金津消防署救急分所に配置
	平成24年 嶺北消防組合議会定例会開催
平成24年4月	次長に牧野吉文 就任 第十五代嶺北金津消防署長に辻 義彦 就任 第七代嶺北芦原消防署長に平川 稔 就任 第四代嶺北丸岡消防署長に吉村博樹 就任 あわら第2-3分団が、あわら第3分団に編入
9月	救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)
10月	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を坂井市にて実施
11月	高規格救急車購入、嶺北三国消防署に配置
平成25年2月	水槽付消防ポンプ自動車購入、嶺北金津消防署に配置 日本損害保険協会より小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈される。 日本消防協会より防災活動車(軽自動車)が寄贈される。
平成25年3月	嶺北消防組合嶺北あわら消防署庁舎落成式(あわら市花乃杜) 本庁舎 鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 敷地面積 6,289.72㎡ 建築面積 1,034.95㎡ 延面積 2,369.63㎡

平成25年3月	<p>主訓練塔 鉄筋コンクリート造 地上5階 建築面積 83.05㎡ 延面積 288.59㎡</p> <p>補助訓練塔 鉄骨造 地上2階 建築面積 23.20㎡ 延面積 40.02㎡</p> <p>車庫 鉄骨造 平屋建て 建築面積 120.15㎡ 延面積 115.70㎡</p> <p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第3分団に配置</p> <p>平成25年 嶺北消防組合議会定例会開催</p>
平成25年4月	<p>嶺北あわら消防署を開設し、1本部、4署、2分所の事務機構となる。</p> <p>第九代消防長に牧野吉文 就任</p> <p>次長に山下巧太郎 就任</p> <p>第十代嶺北消防署長に川嶋 勇 就任</p> <p>初代嶺北あわら消防署長に川崎 正 就任</p> <p>第五代嶺北丸岡消防署長に北 乙和 就任</p> <p>第四代嶺北三国消防署長に津田英男 就任</p> <p>福井県防災航空隊に職員1名派遣(平成28年3月まで)</p>
平成25年9月	<p>救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p> <p>福井県小浜市を襲った台風18号による被災地を消防職員がボランティアとして復旧作業にあたる。</p>
10月	災害派遣用消防人員搬送車購入、嶺北消防本部に配置
11月	本部指揮車購入、嶺北消防本部に配置
12月	高規格救急車購入、嶺北丸岡消防署に配置
平成26年2月	総務省消防庁より、小型動力ポンプ付軽消防自動車が無償貸与される。
3月	<p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、あわら第1分団に配置</p> <p>消防ポンプ自動車(CD-I)購入、坂井第8分団に配置</p> <p>平成26年 嶺北消防組合議会定例会開催</p>
平成26年4月	<p>次長に南 乃利男 就任</p> <p>第十一代嶺北消防署長に北 乙和 就任</p> <p>第六代嶺北丸岡消防署長に高橋真三 就任</p> <p>第五代嶺北三国消防署長に篠崎謙一 就任</p> <p>救急救命東京研修所へ職員派遣(救急救命士養成)</p>



消防情勢

想 阻 爆 擊

消防庁舎の所在地

嶺北消防本部

所在地 坂井市春江町随応寺第17号10番地
(坂井市春江総合支所 4階)

構造 鉄筋コンクリート造4階建

延面積 990.00㎡

竣工 平成23年3月5日

T E L (0776) 51-0119

F A X (0776) 51-5209



嶺北消防署

所在地 坂井市春江町随応寺第17号10番地

構造 鉄筋コンクリート造3階建

建築面積 357.40㎡

延面積 953.75㎡

敷地面積 514.86㎡

竣工 昭和45年12月15日

T E L (0776) 51-0911

F A X (0776) 51-2689



嶺北あわら消防署

所在地 あわら市花乃杜五丁目2番3号

構造 鉄筋コンクリート造地上2階、地下1階建

建築面積 1,034.95㎡

延面積 2,813.94㎡

敷地面積 6,289.72㎡

竣工 平成25年4月1日

T E L (0776) 73-0119

F A X (0776) 73-5195



救急分所

所在地 あわら市下金屋29字23の50

構造 鉄骨造平屋建

建築面積 171.92㎡

延面積 159.92㎡

敷地面積 567.00㎡

竣工 昭和61年3月10日

T E L (0776) 75-2119



芦原分所

所在地 あわら市国影13号8番地

構造 鉄筋コンクリート造2階建

建築面積 974.13㎡

延面積 1,428.99㎡

敷地面積 3,688.49㎡

竣工 昭和61年3月25日

T E L (0776) 78-4119

F A X (0776) 78-4119



嶺北丸岡消防署

所在地 坂井市丸岡町一本田5号36番地

構造 鉄筋コンクリート造2階建

建築面積 490.19㎡

延面積 998.72㎡

敷地面積 783.36㎡

竣工 昭和46年10月

T E L (0776) 66-0119

F A X (0776) 67-0757



嶺北三国消防署

所在地 坂井市三国町中央一丁目1番36号

構造 鉄筋コンクリート造3階建

建築面積 863.07㎡

延面積 1,553.62㎡

敷地面積 3,156.63㎡

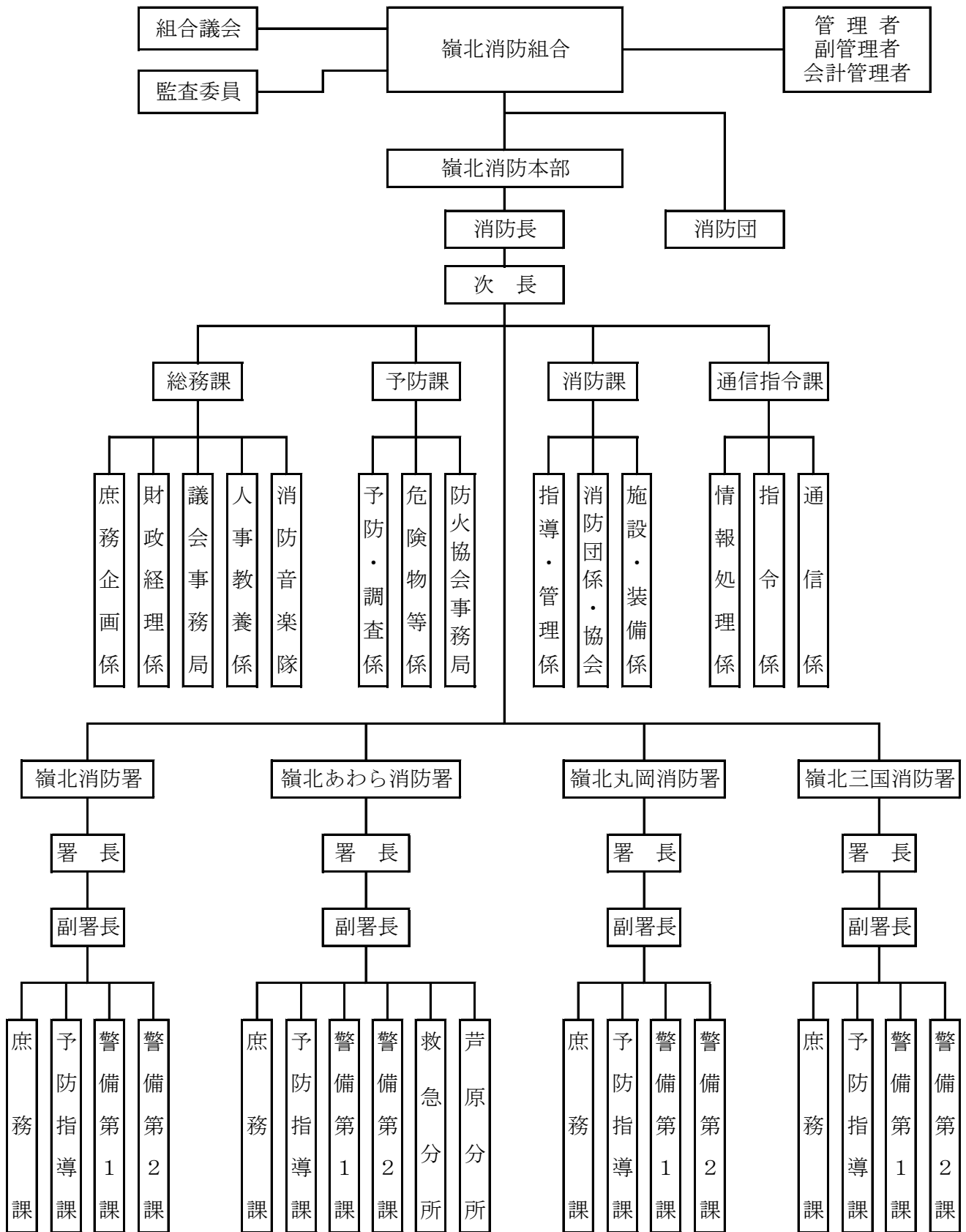
竣工 昭和50年4月

T E L (0776) 82-6119

F A X (0776) 82-5499



嶺北消防組合組織機構図



平成26年度 嶺北消防組合当初予算

1. 歳入

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 分担金及び負担金	2,109,693	1,869,751	239,942
2. 使用料及び手数料	8,500	8,500	0
3. 国庫支出金	0	15,945	△ 15,945
4. 県支出金	0	34,990	△ 34,990
5. 財産収入	83	75	8
6. 繰入金	0	8,900	△ 8,900
7. 繰越金	2	2	0
8. 諸収入	12,422	12,337	85
9. 組合債	38,000	51,200	△ 13,200
合 計	2,168,700	2,001,700	167,000

2. 歳出

(単位:千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1. 議会費	1,000	458	542				1,000
2. 総務費	4,544	4,556	△ 12			83	4,461
3. 消防費	2,140,595	1,978,810	161,785		38,000	8,500	2,094,095
4. 公債費	22,261	17,576	4,685				22,261
5. 予備費	300	300	0				300
合 計	2,168,700	2,001,700	167,000	0	38,000	8,583	2,122,117

3. 分担金の内訳

(単位:千円)

区分 市名	各市 当初予算額 (A)	各市 分担金 (B)	比 率 $\frac{B}{A} \times 100(\%)$	分担金の内訳	
				特別的経費	共通的経費
あわら市	14,340,000	451,482	3.15	35,411	416,071
坂井市	31,657,000	1,658,211	5.24	425,171	1,233,040
合 計	45,997,000	2,109,693	4.59	460,582	1,649,111

消 防 職 員 状 況 (平成26年度)

1. 消防職員の配置状況

(平成26年4月1日現在)

階級 区分	合計	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	事務 職員
消防本部	42	1	1	4	9	5	7	4	7	4
嶺北消防署	39			2	5	8	6	7	11	
嶺北あわら消防署	48			1	10	9	10	9	9	
嶺北丸岡消防署	33			1	6	7	6	5	8	
嶺北三国消防署	33			1	6	7	7	7	5	
合 計	195	1	1	9	36	36	36	32	40	4

2. 消防職員年齢状況

(平成26年4月1日現在)

階級 区分	合計	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	事務 職員
18歳～20歳	7								7	
21歳～25歳	32							4	28	
26歳～30歳	22							17	5	
31歳～35歳	20						10	10		
36歳～40歳	35					12	21	1		1
41歳～45歳	34				7	22	5			
46歳～50歳	15			1	14					
51歳～55歳	14			2	10					2
56歳以上	16	1	1	6	5	2				1
合 計	195	1	1	9	36	36	36	32	40	4

3. 消防職員勤続年数

(平成26年4月1日現在)

階級 区分	合計	消防 正 監	消防監	消防 司令長	消防 司 令	消防 司令補	消防 士 長	消防 副士長	消防士	事務 職員
2年未満	15								15	
2年以上	25							6	19	
5年以上	28						2	20	6	
10年以上	18						12	6		
15年以上	22				1	9	12			
20年以上	35				1	23	10			1
25年以上	19			1	16	2				
30年以上	17			2	14					1
35年以上	16	1	1	6	4	2				2
合 計	195	1	1	9	36	36	36	32	40	4

4. 消防職員教養等実施状況

(平成25年度)

階 級 区 分		消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消防士	合 計	
		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長			
福 井 県 消 防 学 校	初 任 教 育						9	9	
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科				3			3
		中 級 幹 部 科							0
		上 級 幹 部 科		3					3
	専 科 教 育	警 防 科							0
		特 殊 災 害 科			2	1			3
		予 防 査 察 科					2	1	3
		危 険 物 科							0
		火 災 調 査 科				3			3
		救 助 科				2	2		4
		救 急 科					4		4
		特 別 教 育	水 難 救 助 科					1	2
	操 法 指 導 員 教 育				3	1			4
	起 震 車 操 作 員 教 育								0
小 計		0	3	5	10	9	12	39	
消 防 大 学 校 入 校			4	1				5	
救 急 救 命 研 修 所					1			1	
資 格 講 習 等	小 型 移 動 式 クレーン 運 転				3			3	
	玉 掛 け 技 能 講 習				3			3	
	酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者			3				3	
	第 三 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士			3				3	
	2 級 小 型 船 舶 操 縦 士				2			2	
	第 2 種 衛 生 管 理 者 安 全 衛 生 推 進 者		5					5	
	小 計		0	9	7	9	0	0	25
合 計		0	12	12	19	9	12	64	

消 防 音 楽 隊

「音楽を通じて住民に親しまれる消防」を合言葉に昭和47年5月に発足、現在は吹奏楽・太鼓隊の2隊により活動を行っています。

火災予防業務の一環として、また地域住民との架け橋として、安全で安心して暮らせる街づくりに私たち消防音楽隊は演奏活動に励んでおります。

■ 吹奏楽隊

隊長 1名 楽長 1名 副楽長 1名

パート	人数	パート	人数
ソプラノサクソ	1	トロンボーン	4
アルトサクソ	3	バリトン	2
テナーサクソ	2	チューバ	2
トランペット	6	パーカッション	9



■ 太鼓隊

隊長 1名 楽長 1名 副楽長 1名

パート	人数	パート	人数
太 鼓	5	ド ラ ム	1



■ 月別出演回数

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1	1	1	1	1	2	1	3	1	4		

消 防 施 設

1. 消防機械

(平成26年4月1日現在)

所属	名 称	年式	メーカー		級 別	登録番号	無線呼出名称
			シャーシ	ポンプ			
本 部	嶺北指揮1号車	H25	トヨタ			830 さ 2013	れいほくしき1
	嶺北指令1号車	H19	マツダ			800 さ 5645	れいほくしれい1
	嶺北支援車1	H23	日 野			800 は 869	れいほくしえん1
	救急広報車	H22	ニッサン			800 さ 7024	
	マイクロバス	H25	トヨタ			230 さ 2013	
	組合バス	H18	ニッサン			200 は 173	
	本部連絡1号車	H23	トヨタ			500 ゆ 8017	
	本部連絡2号車	H24	ダイハツ			580 つ 280	
	本部連絡3号車	H15	マツダ			500 な 8568	
	本部連絡4号車	H24	ダイハツ			480 き 3217	
嶺 北 消 防 署	嶺北指揮2号車	H10	三 菱			88 な 9888	れいほくしき2
	嶺北1号車	H 9	日 野	モリタ	A-2	88 な 9205	れいほく1
	嶺北2号車	H21	日 野	日本機械	A-2	830 さ 2010	れいほく2
	嶺北6号車	H20	日 野	モリタ	A-2	830 す 2008	れいほく6
	嶺北化学1号車	H 6	三 菱	日本機械	A-2	88 そ 3209	れいほくかがく1
	嶺北梯子1号車	H11	日 野	モリタ	30m(A-2)	88 そ 3725	れいほくはしご1
	嶺北搬送1号車	H26	いすゞ			800 さ 8373	れいほくはんそう1
	嶺北救急1号車	H23	トヨタ		高規格	830 セ 2011	れいほくきゅうきゅう1
	嶺北救急4号車	H 8	トヨタ		高規格	88 な 8436	れいほくきゅうきゅう4
	嶺北連絡1号車	H17	ニッサン			800 さ 4237	れいほくれんらく1
嶺北軽消2	H26	ダイハツ			880 あ 694	れいほくけいしょう2	
嶺 北 あ わ ら 消 防 署	嶺北指揮3号車	H11	三 菱			800 さ 171	れいほくしき3
	嶺北4号車	H25	日 野	モリタ	A-2	830 そ 2012	れいほく4
	嶺北7号車	H17	日 野	モリタ	A-2	800 さ 4704	れいほく7
	嶺北化学2号車	H 6	三 菱	日本機械	A-2	88 そ 3210	れいほくかがく2
	嶺北梯子2号車	H 3	ニッサン	モリタ	30m	88 そ 3003	れいほくはしご2
	嶺北救助1号車	H13	日 野	帝国繊維		800 は 156	れいほくきゅうじょ1
	嶺北搬送2号車	H26	いすゞ			800 さ 8372	れいほくはんそう2
	嶺北搬送3号車	H 6	トヨタ			88 な 7675	れいほくはんそう3
	嶺北救急2号車	H20	トヨタ		高規格	800 さ 5783	れいほくきゅうきゅう2
	嶺北連絡2号車	H18	ニッサン			800 さ 4763	れいほくれんらく2
嶺北軽消1	H25	スズキ			880 あ 621	れいほくけいしょう1	
芦原 分所 救急 分所	嶺北8号車	H 5	いすゞ	長 野	A-1	88 な 7010	れいほく8
	嶺北救急3号車	H24	トヨタ		高規格	830 さ 2012	れいほくきゅうきゅう3
	嶺北3号車	H 8	三 菱	日本機械	A-2	88 な 8969	れいほく3
分所	嶺北救急5号車	H15	トヨタ		高規格	800 さ 3060	れいほくきゅうきゅう5

所属	名 称	年式	メーカー		級 別	登録番号	無線呼出名称
			シャーシ	ポンプ			
嶺北丸岡消防署	嶺北指揮5号車	H10	トヨタ			88 な 9838	れいほくしき5
	嶺北10号車	H 8	日 野	モリタ	A-2	88 そ 3415	れいほく10
	嶺北11号車	H17	日 野	モリタ	A-2	800 さ 4267	れいほく11
	嶺北化学3号車	H13	三 菱	モリタ	A-2	830 て 119	れいほくかがく3
	嶺北救助3号車	H10	いすゞ	帝国繊維		88 そ 3697	れいほくきゅうじよ3
	嶺北搬送4号車	H17	トヨタ			800 さ 4709	れいほくはんそう4
	嶺北救急6号車	H12	トヨタ		高規格	830 つ 119	れいほくきゅうきゅう6
	嶺北救急7号車	H25	ニッサン		高規格	800 さ 8181	れいほくきゅうきゅう7
	嶺北広報1号車	H10	マツダ			88 ひ 382	れいほくこうほう1
	嶺北連絡3号車	H15	トヨタ			800 さ 3145	れいほくれんらく3
	連絡車	H11	三 菱			40 や 2355	
嶺北三国消防署	嶺北指揮6号車	H10	ニッサン			88 ひ 432	れいほくしき6
	嶺北13号車	H17	日 野	長 野	A-2	800 さ 4255	れいほく13
	嶺北14号車	H 9	いすゞ	長 野	A-1	88 な 9519	れいほく14
	嶺北15号車	H20	日 野	モリタ	A-2	830 さ 2009	れいほく15
	嶺北泡タンク1号車	H 3	三 菱	東急車輛	B-2	88 そ 2884	れいほくあわたんく1
	嶺北化学4号車	S61	ニッサン	日本機械	A-1	88 そ 2279	れいほくかがく4
	嶺北梯子3号車	H18	日 野	日本機械	25m	800 は 503	れいほくはしご3
	嶺北救助4号車	H13	日 野	日本機械		830 せ 2001	れいほくきゅうじよ4
	嶺北搬送5号車	H14	日 野			800 さ 2360	れいほくはんそう5
	嶺北救急8号車	H12	ニッサン		高規格	830 さ 99	れいほくきゅうきゅう8
	嶺北救急10号車	H24	ニッサン		高規格	800 さ 7758	れいほくきゅうきゅう10
	嶺北連絡4号車	H14	三 菱			800 さ 2416	れいほくれんらく4
嶺北連絡5号車	H25	ニッサン			880 あ 625		

2. 現有消防水利

(平成26年4月1日現在)

水利別		あわら市	坂井市	合 計
公設 防火水槽	20m ³ 以上40m ³ 未満	43	42	85
	40m ³ 以上50m ³ 未満	298 (耐震 51)	635 (耐震 202)	933 (耐震 253)
	50m ³ 以上	3	51 (耐震 10)	54 (耐震 10)
	小 計	344 (耐震 51)	728 (耐震 212)	1,072 (耐震 263)
公設 消火栓	100mm以上150mm未満	724	1,706	2,430
	150mm以上200mm未満	314	578	892
	200mm以上250mm未満	78	200	278
	250mm以上	36	184	220
	小 計	1,152	2,668	3,820
プ ー ル		16	30	46
合 計		1,512	3,426	4,938

水利別		あわら市	坂井市	合 計
私設 防火水槽	40m ³ 未満	23	21	44
	40m ³ 以上	29	182	211
	合 計	52	203	255



予防関係

予防関係

建 築

1. 月別建築同意件数

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

署別	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
嶺北消防署		9	9	3	7	5	3	2	2	4	2	7	3	56
嶺北あわら消防署		1	4	5	6	8	3	13	1	4	3	4	12	64
嶺北丸岡消防署		6	2	2	4	7	7	3	3	2		2	1	39
嶺北三国消防署		2	7	8	7		1	1		1	1	6	1	35
合 計		18	22	18	24	20	14	19	6	11	6	19	17	194

2. 用途別建築同意件数

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

対象物項別		工事種別							合計
		新築	増築	改築	移転	用途変更	修模	その他	
1	イ	劇場・映画館							0
	ロ	集会場等							1
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等							0
	ロ	遊技場・ダンスホール							0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							0
	ニ	カラオケボックスその他個室店舗等							0
3	イ	待合・料理店等							0
	ロ	飲食店							4
4	百貨店・マーケット等							13	
5	イ	旅館・ホテル等							1
	ロ	寄宿舎・共同住宅等							4
6	イ	病院・診療所等							1
	ロ	老人短期入所施設等							6
	ハ	老人デイサービスセンター等							12
	ニ	幼稚園・特別支援学校等							0
7	学 校 等							10	
8	図書館・博物館等							0	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							0
	ロ	上記以外の公衆浴場							3
10	車両の停車場等							0	
11	神社・寺院・教会等							3	
12	イ	工場・作業場							20
	ロ	映画スタジオ等							0
13	イ	自動車車庫・駐車場							2
	ロ	飛行機等の格納庫							0
14	倉 庫							20	
15	前記各項に該当しない事業場							24	
16	イ	特定複合用途対象物							11
	ロ	上記以外の複合用途対象物							2
17	重要文化財建造物							0	
専用住宅									4
併用住宅									0
危険物製造所等									0
その他									53
合 計		123	60	6	1	4	0	0	194

防 火 対 象 物 数

(平成26年3月31日現在)

区 分 対象物項別			法 第 17 条 対 象 物					法 第 8 条 対 象 物				
			小 計	嶺 北 消防署	嶺 北 あわら 消防署	嶺 北 丸 岡 消防署	嶺 北 三 国 消防署	小 計	嶺 北 消防署	嶺 北 あわら 消防署	嶺 北 丸 岡 消防署	嶺 北 三 国 消防署
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館	7		2		5	4		1		3
	ロ	集 会 場 等	266	80	80	62	44	48	14	12	10	12
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	1				1	1				1
	ロ	遊技場・ダンスホール	14	5	3	3	3	14	6	3	3	2
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む 店 舗 等	0					0				
	ニ	カラオケボックスその他個室 店 舗 等	1	1				1	1			
3	イ	待 合 ・ 料 理 店 等	12	4	2	4	2	10	4	2	4	
	ロ	飲 食 店	95	24	16	22	33	79	25	13	18	23
4		百 貨 店 ・ マーケット等	208	67	50	46	45	110	40	27	26	17
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 等	106		53	8	45	66		36	4	26
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	612	169	177	162	104	30	9	7	6	8
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	63	15	20	17	11	20	4	6	9	1
	ロ	老人短期入所施設等	24	7	8	7	2	19	7	5	5	2
	ハ	老人デイサービスセンター等	118	40	26	39	13	73	27	14	23	9
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	17	5		8	4	10	5		2	3
7		学 校 等	85	33	20	12	20	48	13	16	12	7
8		図 書 館 ・ 博 物 館 等	22	3	7	5	7	5	2	1	1	1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	0					0				
	ロ	上記以外の公衆浴場	5	2			3	3	2			1
10		車 両 の 停 車 場 等	6	3	2		1	0				
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会 等	133	22	55	14	42	54	16	26	4	8
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	1,304	441	339	302	222	72	21	21	20	10
	ロ	映 画 ス タ ジ オ 等	0					0				
13	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	74	26	29	9	10	0				
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫	4	4				0				
14		倉 庫	657	229	245	88	95	1			1	
15		前記各項に該当しない 事 業 場	673	189	154	137	193	87	23	23	22	19
16	イ	特定複合用途対象物	349	85	115	91	58	160	37	46	41	36
	ロ	上記以外の複合用途対象物	223	74	81	54	14	13	1	7	5	
17		重要文化財建造物	2			2		0				
合 計			5,081	1,528	1,484	1,092	977	928	257	266	216	189

消防用設備等設置状況

(平成26年3月31日現在)

区分 項別		自動火災報知設備					非常警報設備				
		設置棟数					設置棟数				
		小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署
1	イ	6		1		5	5		1		4
	ロ	61	22	18	10	11	121	38	33	30	20
2	イ	0					1				1
	ロ	12	5	3	1	3	11	3	3	2	3
	ハ	0					0				
	ニ	1	1				1	1			
3	イ	10	3	2	4	1	3	1		2	
	ロ	26	5	2	5	14	28	13	4	6	5
4		102	34	23	24	21	49	16	7	19	7
5	イ	94		51	7	36	35		29	2	4
	ロ	84	17	22	27	18	23	8		6	9
6	イ	42	7	15	12	8	10	2	4	3	1
	ロ	24	7	7	8	2	11	6	2	3	
	ハ	86	29	20	27	10	10	5	1	4	
	ニ	13	5		8		7	1		6	
7		72	23	19	12	18	22	5	4	9	4
8		10	2	2	3	3	4	1	1	1	1
9	イ	0					0				
	ロ	3	2			1	0				
10		2	1	1			0				
11		10		6		4	23	8	10	1	4
12	イ	612	209	154	161	88	8	1		7	
	ロ	0					0				
13	イ	12	2	6	2	2	0				
	ロ	4	4				0				
14		185	74	55	28	28	1	1			
15		151	39	38	34	40	24	4	5	10	5
16	イ	143	27	44	39	33	34	7	16	9	2
	ロ	30	9	8	11	2	3	1		2	
17		2			2		0				
合計		1,797	527	497	425	348	434	122	120	122	70

(平成26年3月31日現在)

区分 項別	スプリンクラー設備					屋内消火栓設備					
	設置棟数					設置棟数					
	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	
1	イ	1			1	0					
	ロ	0				11	3	3	2	3	
2	イ	0				0					
	ロ	2			2	5	3	1		1	
	ハ	0				0					
	ニ	0				0					
3	イ	0				3	1		2		
	ロ	0				2				2	
4		7	3	1	2	1	25	6	6	9	4
5	イ	11		10		1	42		34	2	6
	ロ	0					4	2		1	1
6	イ	5	1	2	1	1	5	1	2	1	1
	ロ	20	7	5	6	2	1	1			
	ハ	3	1	1	1		6		4	2	
	ニ	0					3			3	
7		0					57	17	17	10	13
8		1	1				5	2	1	1	1
9	イ	0					0				
	ロ	0					1	1			
10		0					0				
11		0					4		3		1
12	イ	0					239	90	64	60	25
	ロ	0					0				
13	イ	0					0				
	ロ	0					0				
14		0					52	26	13	8	5
15		1			1		41	10	7	14	10
16	イ	19	4	4	6	5	19	4	11	2	2
	ロ	1		1			11	3	3	5	
17		0					0				
合計		71	17	24	17	13	536	170	169	122	75

(平成26年3月31日現在)

区分 項別	避難器具設備					誘導灯					
	設置棟数					設置棟数					
	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	小計	嶺北 消防署	嶺北 あわら 消防署	嶺北 丸岡 消防署	嶺北 三国 消防署	
1	イ	1			1	7		2		5	
	ロ	10	4	2	2	241	73	66	61	41	
2	イ	0				1				1	
	ロ	0				14	5	3	3	3	
	ハ	0				0					
	ニ	1	1			1	1				
3	イ	4	2		2	11	3	2	4	2	
	ロ	3		1	2	89	25	14	18	32	
4		5		3	1	180	57	42	45	36	
5	イ	34		21	1	106		54	7	45	
	ロ	89	28	9	51	2		1		1	
6	イ	11	2	3	5	62	15	19	17	11	
	ロ	8	3	2	3	23	7	6	8	2	
	ハ	16	9	4	2	118	41	25	39	13	
	ニ	2			2	13	5		8		
7		44	12	11	12	9	0				
8		2			1	1	3	1	1	1	
9	イ	0				0					
	ロ	0				4	2			2	
10		0				0					
11		0				1				1	
12	イ	10	2		6	2	24	2	14	5	3
	ロ	0				0					
13	イ	0				0					
	ロ	0				1	1				
14		2	1			1	26	5	11	4	6
15		19	5	1	11	2	43	2	19	6	16
16	イ	48	6	11	19	12	259	53	81	71	54
	ロ	8	2		5	1	17	6	4	6	1
17		0				0					
合計		317	77	68	123	49	1,246	304	364	302	276

危 険 物

1. 危険物施設設置状況

(平成26年3月31日現在)

区分 署別	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所					合 計
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	移 送	給 油	販 売	一 般	
嶺北消防本部		5	46					1	2	1		8	63
嶺北消防署		20	17	3	30		19			18		27	134
嶺北あわら消防署	4	23	35	4	69	1	14	6		28		58	242
嶺北丸岡消防署	2	8	11	2	46		33			23		20	145
嶺北三国消防署	19	39	69	3	58		67	12		24		66	357
合 計	25	95	178	12	203	1	133	19	2	94	0	179	941

2. 危険物関係事務処理状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

区分 署別	合 計	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	完 成 検 査 申 請	水 張 検 査	水 圧 検 査	溶 接 部 検 査	基 礎 地 盤 検 査	保 安 検 査	認 可 申 請	仮 取 扱 承 認 貯 蔵 申 請	譲 渡 引 渡 届 出	危 険 物 取 扱 者 届 出	住 所 ・ 名 称 等 変 更 届 出	廃 止 届 出	保 安 監 督 者 選 解 任 届 出	品 名 ・ 数 量 変 更 届 出	少 量 危 険 物 タンク 検 査	変 更 ・ 火 気 使 用 届 出	休 止 届 出	再 交 付 申 請	
		嶺北消防本部	55		7	6	1					2	8		28			1				
嶺北消防署	145	1	10	11	12					4	4	8	26	23	7	14	1		15	6	3	
嶺北あわら消防署	199	4	34	36		1				2	32		16	30	12	6	4		16	3	3	
嶺北丸岡消防署	321	2	56	58	24	12				6	48	2	42	13	5	10			36	1	2	
嶺北三国消防署	438	3	65	68						8	53	20	9	82	15	39	12		63	1		
合 計	1,158	10	172	179	37	13	0	0	0	22	145	30	121	148	39	70	17	0	130	13	8	

3. 消防手数料徴収状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)(単位:千円)

区分 署別	合 計	設 置 許 可 申 請	変 更 許 可 申 請	完 成 検 査 申 請	水 張 検 査 申 請	水 圧 検 査 申 請	溶 接 部 検 査 申 請	基 礎 地 盤 検 査 申 請	流 出 油 等 防 止 堤 等 査	保 安 検 査 申 請	仮 承 認 貯 蔵 取 扱 申 請	り 災 証 明	少 量 危 険 物 タンク 明	そ の 他 の 証 明	煙 火 消 費
嶺北消防本部	426.30		206.50	102.00	11.00						59.40				47.40
嶺北消防署	477.75	39.00	215.50	127.25	72.00						21.60	1.80		0.60	
嶺北あわら消防署	1,332.55	86.00	671.00	379.75		11.00					172.80	3.90	6.00	2.10	
嶺北丸岡消防署	2,841.20	52.00	1,466.0	739.50	190.00	131.80					259.20	1.80		0.90	
嶺北三国消防署	2,793.65	98.00	1,521.5	897.25							275.40	1.50			
合 計	7,871.45	275.00	4,080.50	2,245.75	273.00	142.80	0.00	0.00	0.00	0.00	788.40	9.00	6.00	3.60	47.40

各種届出処理状況

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

区分	署別				合計
	嶺北消防署	嶺北あわら消防署	嶺北丸岡消防署	嶺北三国消防署	
防火対象物使用届出	47	59	29	24	159
火を使用する設備等の設置(変更)届出	13	14	6	13	46
電気設備設置届出	10	20	17	12	59
水素ガスを充填する気球の設置届出					0
少量危険物、指定可燃物の貯蔵取扱届出	17	28	14	23	82
煙火打上げ、仕掛け届出	8	4	7	1	20
催物開催届出	5	4	11	5	25
火災とまぎらわしい煙等を発する行為等の届出	11	28	7	20	66
水道・用排水路の断水又は減水届出	4	4	14	1	23
道路工事又は露店の開設届出	469	134	220	183	1,006
消防計画届出	65	74	63	53	255
防火管理者選(解)任届出	53	43	55	32	183
圧縮アセチレンガス、液化石油ガス貯蔵取扱届出	6	3	1	3	13
合計	708	415	444	370	1,937

防火管理者資格付与講習会実施状況

年別	区別	講習修了者数(人)				合計
		嶺北消防署	嶺北あわら消防署	嶺北丸岡消防署	嶺北三国消防署	
平成15年		30	46	37	24	137
平成16年		24	37	25	37	123
平成17年		28	43	24	34	129
平成18年		32	35	45	23	135
平成19年		49	48	43	24	164
平成20年		42	56	52	43	193
平成21年		45	23	40	22	130
平成22年		31	45	31	23	130
平成23年		41	43	36	35	155
平成24年		41	20	36	21	118
平成25年		33	30	17	23	103



通信關係

通 信 關 係
理 但 關 係

消防緊急通信指令施設関係

1. 指令運用・支援情報

(平成26年4月1日現在)

装置名	数量	装置名	数量
指令台(指揮台含む)	4台	無線統制台	1台
録音装置	1式	署所端末装置	6台
非常用指令装置	1式	出場車両運用管理装置	1式
指令制御装置	1式	経路探索装置	1台
車両運用端末装置	36台	地図等検索装置	3台
車外設定端末装置	22台	音声合成装置	1式
車両運用表示盤	1面	支援ITシステム	1式
支援情報表示盤	1面	災害自動案内装置(51-2000)	1式
多目的情報表示盤	1面	無停電電源装置	1式
支援表示装置	3台	データメンテナンス装置	1式
指令情報送信装置	1式	気象情報収集装置	1式
指令情報出力装置	6台	現場映像伝送装置	1式
統合型位置情報システム	1式	メール119受信装置	1台
システム監視装置	1式	聴覚障害者用FAX装置	1台
福井県広域災害救急医療情報用携帯電話	1台	駆け込み通報装置	6台
衛星携帯電話	1台	職員緊急メールシステム	1式
全国瞬時警報システム(J-ALERT)	1台	緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)	1式

2. 無線電話

(平成26年4月1日現在)

区分 局別	周波数	出力	局別										合計
			本部	嶺北署	あわら署	救分	急所	芦分	原所	丸岡署	三国署	消防団	
基地局	県内波 152.77	10W	1				1	1	1	1			5
	組合波1 153.55												
移動局	組合波2 150.31	10W	3	10	10	2	2	10	12	46			95
	組合波3 149.71												
携帯局	全国波1 150.73	5W	3	7	6	1	1	8	9				35
	全国波2 148.75												
携帯局	全国波3 154.15	1W		1	2			2	1				6
	防災波 158.35												

3. 119番受付状況(月別)

(件)

着信別		月別												小計	合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
火災	119		1		1	4							3	9	52	
	携帯	2	4	2	4	6	5	2	5	1	1			32		
	IP	1	1	4	1	1	1	1					1	11		
救急	119	113	107	102	94	107	79	95	112	76	84	81	94	1,144	3,196	
	携帯	65	62	82	71	83	74	90	133	88	83	76	88	995		
	IP	87	85	77	74	91	96	81	104	79	83	99	101	1,057		
救助	119		1					1		1	1			4	41	
	携帯	3	5	1	3	3	1	2	2	1	5	3	2	31		
	IP				1	2			1	2				6		
その他の災害	119			2	1	3	1	1	2	2	1		1	14	42	
	携帯	1	2	3	2	2	2	2	3	2		2		21		
	IP		1	1	2					2	1			7		
問合せ	119	7	2	5	6	10	9	4	9	11	8	9	5	85	330	
	携帯	13	6	7	15	14	10	20	16	13	12	11	16	153		
	IP	5	5	4	7	9	14	9	7	6	9	7	10	92		
試験	119		2	2	2	5			2	4	3	4	1	25	105	
	携帯	7	6	6	8	4	4	2	6	12	6	6	4	71		
	IP	9												9		
いたづら	119		1									2		3	19	
	携帯	3	1	3		1	1	1	1				1	12		
	IP				1	1			1		1			4		
間違い	119	12	5	8	9	6	7	7	4	6	8	4	6	82	198	
	携帯	7	10	9	6	2	8	6	4	7	9	2	10	80		
	IP	9	2	1	2	4	3	3	3	3	1	3	2	36		
その他	通報試験	119	12	14	15	40	35	22	17	14	11	34	26	21	261	318
		携帯	2	2	1	4	6	4	6	2	6	3	2	6	44	
		IP	2			1	1		2	2		3	2		13	
	訓 練	119	7	16	45	12	25	70	33	16	19	49	56	22	370	521
		携帯	2		1		1	3	4	6	7	3	2	1	30	
		IP	3	4	15	4	7	14	5	11	9	19	19	11	121	
	その他 (無言等)	119	13	12	17	13	31	18	10	15	48	36	10	11	234	834
		携帯	30	19	31	29	31	48	60	68	66	42	20	30	474	
		IP	4	7	9	11	39	7	10	9	4	10	5	11	126	
小 計	119	164	161	196	178	226	207	167	175	178	223	192	164	2,231	5,656	
	携帯	135	117	146	142	153	160	195	246	203	164	124	158	1,943		
	IP	120	105	111	104	155	135	111	138	105	127	135	136	1,482		
合 計		419	383	453	424	534	502	473	559	486	514	451	458	5,656		

火災統計

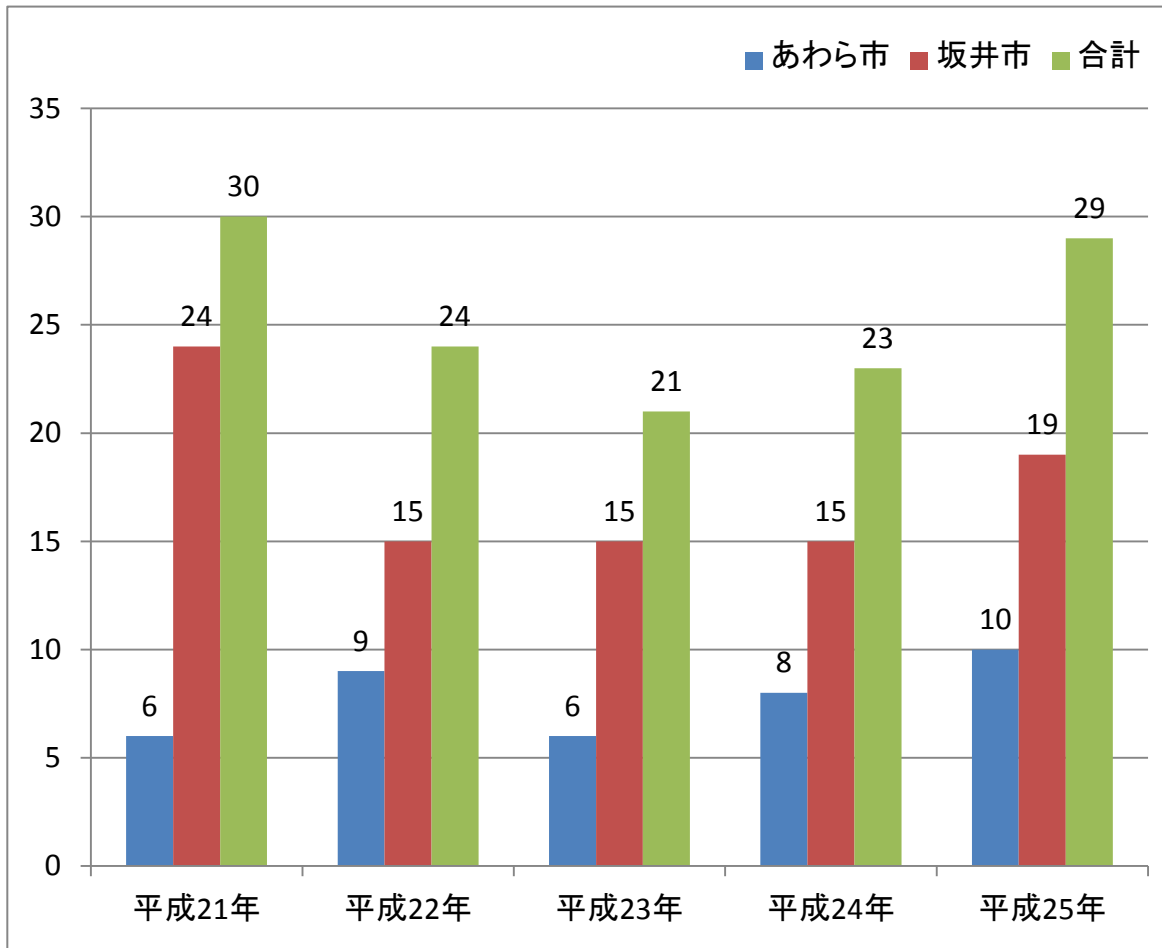
火災統計

火災概況(市別・前年との比較)

年・市別 区分	平成25年			平成24年			前年との比較 (△は減少)
	あわら市	坂井市	合計	あわら市	坂井市	合計	
出火件数	10	19	29	8	15	23	6
建物	6	18	24	5	7	12	12
林野			0			0	0
車両	2	1	3	2	7	9	△ 6
船舶			0			0	0
航空機			0			0	0
その他	2		2	1	1	2	0
損害額(千円)	35,759	34,573	70,332	20,871	494,867	515,738	△ 445,406
建物	34,271	34,423	68,694	19,673	488,589	508,262	△ 439,568
林野			0			0	0
車両	1,280	150	1,430	1,086	6,243	7,329	△ 5,899
船舶			0			0	0
航空機			0			0	0
その他	208		208	112	35	147	61
爆発			0			0	0
焼損棟数	8	19	27	5	21	26	1
全焼	2	2	4	2	9	11	△ 7
半焼	1	1	2		1	1	1
部分焼	2	7	9	2	5	7	2
ぼや	3	9	12	1	6	7	5
り災世帯数	2	12	14	3	9	12	2
全損			0	1	3	4	△ 4
半損		1	1	2		2	△ 1
小損	2	11	13		6	6	7
り災人員	3	41	44	8	27	35	9
建物焼損 床面積(㎡)	561	283	844	234	5,994	6,228	△ 5,384
林野焼損 面積(a)			0			0	0
死者	1	2	3		1	1	2
負傷者	1	1	2		4	4	△ 2

市別火災状況過去5ヶ年の推移(発生件数及び損害額)

(件)



(千円)

市 別		年 別				
		平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
損害額	あわら市	673	27,061	15,528	20,871	35,759
	坂井市	53,162	132,863	37,178	494,867	34,573
	合 計	53,835	159,924	52,706	515,738	70,332

市別・月別火災発生状況

(件)

市別	月 別												合 計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
あわら市		2	1		3	1	1	1				1	10
坂井市	2	2	3	2	3	3	1	1				2	19
合 計	2	4	4	2	6	4	2	2	0	0	0	3	29

原因別火災発生状況

(件)

原因別 \ 種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
タバコ	1						1
こんろ	4						4
ストーブ	2						2
風呂かまど	1						1
煙突・煙道	3						3
配線器具	2						2
排気管			1				1
取灰	1						1
衝突の火花			1				1
火入れ	1		1				2
放火	2					1	3
その他	4					1	5
不明	3						3
合計	24	0	3	0	0	2	29

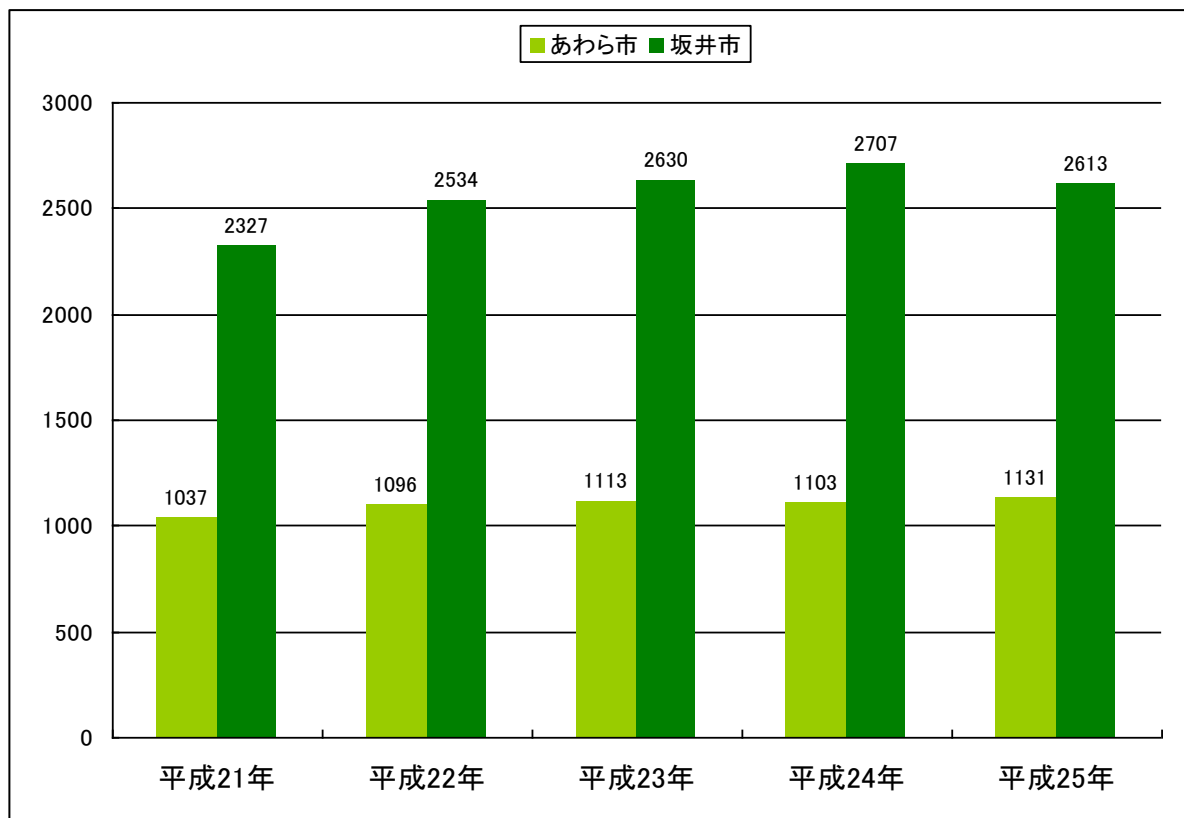
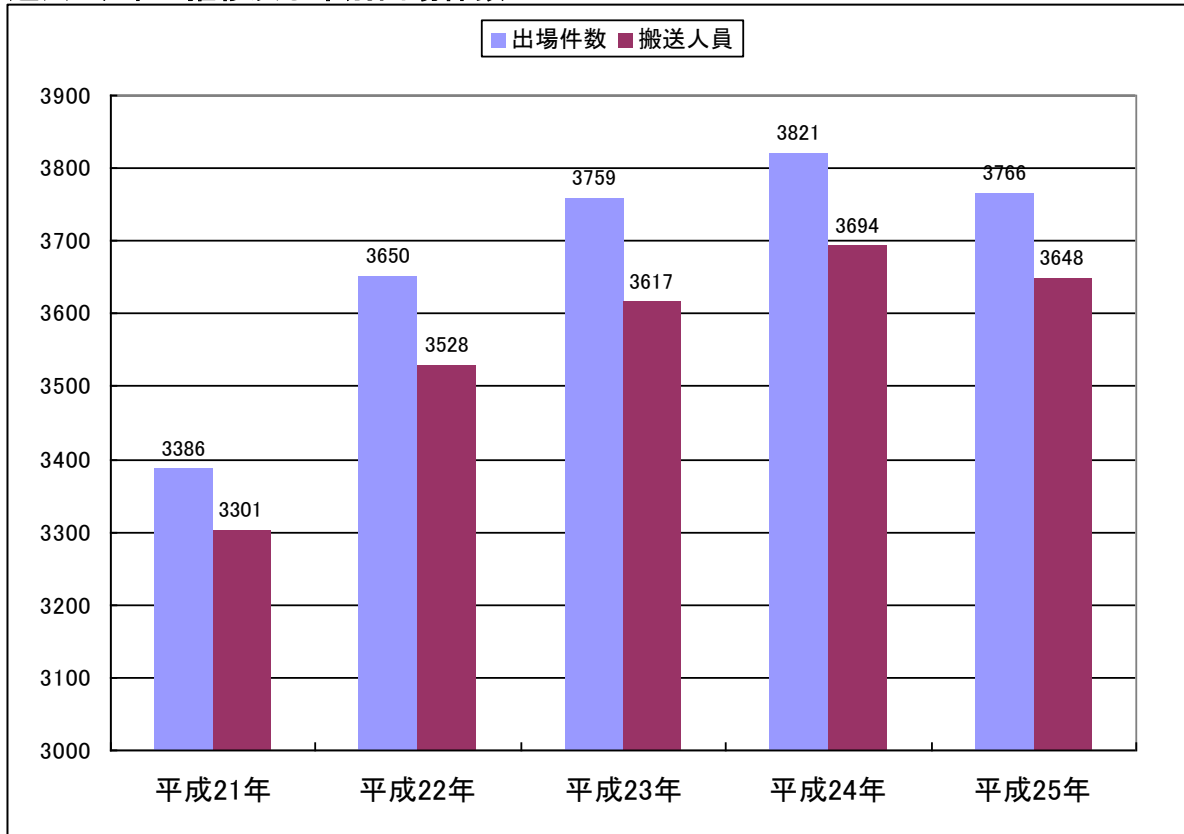
用途別火災発生状況

区分 用途別		発生 件数	焼損 棟数	損害額(千円)		損害額 合計(千円)
				建物	収容物	
建物用途	住宅	11	12	24,705	1,009	25,714
	工場 作業場	5	7	16,699	18,327	35,026
	旅館 ホテル					0
	車庫 その他	8	8	4,674	3,280	7,954
林野						0
車両		3				1,430
船舶						0
航空機						0
その他		2				208
合計		29	27	46,078	22,616	70,332

救急統計

救急統計

過去5ヶ年の推移及び市別出場件数



管轄別・事故種別救急状況

出場件数

(件)

種別 管轄別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 搬 送	そ の 他	
嶺北署			1	137	16	5	134		10	603	100	1		1	1,008
あわら署	1			102	9	10	172	4	3	687	140			3	1,131
丸岡署	1		1	109	9	9	130	1	7	523	29				819
三国署			6	62	5	8	129		23	433	117			3	786
高速				15						6					21
その他				1											1
合計	2	0	8	426	39	32	565	5	43	2,252	386	1	0	7	3,766
あわら市	1			102	9	10	172	4	3	687	140			3	1,131
坂井市	1		8	308	30	22	393	1	40	1,559	246	1		4	2,613
高速				15						6					21
その他				1											1

搬送人員

(人)

種別 管轄別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 搬 送	そ の 他	
嶺北署			1	160	16	4	130		8	568	100				987
あわら署	1			110	8	10	169	4	3	646	140				1,091
丸岡署	1			125	9	9	123	1	5	496	29				798
三国署			1	71	5	8	121		13	413	117			1	750
高速				16						6					22
その他															0
合計	2	0	2	482	38	31	543	5	29	2,129	386	0	0	1	3,648
あわら市	1			110	8	10	169	4	3	646	140				1,091
坂井市	1		2	356	30	21	374	1	26	1,477	246			1	2,535
高速				16						6					22
その他															0

管轄別・月別救急状況

出 場 件 数

(件)

種別 管轄別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
嶺北署	87	84	69	91	92	75	84	110	93	67	69	87	1,008
あわら署	102	95	90	93	104	68	95	112	86	99	93	94	1,131
丸岡署	67	67	77	54	68	74	71	80	58	67	61	75	819
三国署	69	55	53	55	71	68	66	95	54	65	64	71	786
高 速				1	2		2	5	2	1	6	2	21
そ の 他				1									1
合 計	325	301	289	295	337	285	318	402	293	299	293	329	3,766
あわら市	102	95	90	93	104	68	95	112	86	99	93	94	1,131
坂井市	223	206	199	200	231	217	221	285	205	199	194	233	2,613
高 速				1	2		2	5	2	1	6	2	21
そ の 他				1									1

搬 送 人 員

(件)

種別 管轄別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
嶺北署	84	79	67	86	93	75	84	112	93	65	67	82	987
あわら署	100	91	88	90	99	63	88	112	83	96	85	96	1,091
丸岡署	62	63	75	55	70	71	71	72	55	68	62	74	798
三国署	66	51	51	48	68	63	64	99	51	63	60	66	750
高 速					4		2	6	2	2	4	2	22
そ の 他													0
合 計	312	284	281	279	334	272	309	401	284	294	278	320	3,648
あわら市	100	91	88	90	99	63	88	112	83	96	85	96	1,091
坂井市	212	193	193	189	231	209	219	283	199	196	189	222	2,535
高 速					4		2	6	2	2	4	2	22
そ の 他													0

覚知別・事故種別出場件数

(件)

覚知別 \ 事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資機材等搬送	その他	
119 (IP 等)				33	10		163		7	724	103			1	1,041
119 (NTT 加入)				21	7	7	181		8	848	67			1	1,140
119 (携 帯)			3	276	19	20	165	4	16	510				3	1,016
加入 (固定電話)			5	48	1	2	40	1	9	101	215			1	423
加入 (携帯電話)				10		3	4		2	21	1				41
公 衆 電 話										1					1
高 速 専 用				6											6
ホ ッ ト ラ イ ン															0
駆 け 付 け				1	1		13			42					57
消 防 無 線	2			30					1	4		1			38
そ の 他				1	1					1					3
合 計	2	0	8	426	39	32	566	5	43	2,252	386	1	0	6	3,766

救急隊員の行なった応急処置件数送

(件)

応 急 処 置 \ 事 故 種 別	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
止 血	18	39	64	22	143
固 定	23	298	103	50	474
人 工 呼 吸	11	4	2	1	18
心 臓 マ ッ サ ー ジ	8	2	1	1	12
心 肺 蘇 生	95	3	14	12	124
酸 素 吸 入	691	59	73	179	1,002
気 道 確 保	179	11	24	25	239
気 管 挿 管	14		5	2	21
保 温	1,055	204	247	262	1,768
被 覆	5	52	87	25	169
在 宅 療 法 継 続	8				8
シ ョ ッ ク パ ン ツ					0
除 細 動	22	3	1		26
静 脈 路 確 保	13		1	2	16
薬 剤 投 与	3				3
そ の 他 の 応 急 措 置	225	12	25	20	282
血 圧 測 定	1,978	433	496	458	3,365
S p O 2 測 定	2,022	450	506	470	3,448
聴 診 器	287	66	44	39	436
心 電 図	1,082	70	94	195	1,441
合 計	7,739	1,706	1,787	1,763	12,995

救急講習会実施状況

(平成25年中)

講習会内容	実施回数		受講者(人)	対象者
普通救命講習会	嶺北署	15	316	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所 ・ 学校関係 ・ 福祉施設関係 ・ 市役所関係 ・ 一般市民
	あわら署	13	458	
	丸岡署	23	704	
	三国署	11	513	
	合計	62	1,991	
救急講習会	嶺北署	49	1,063	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所 ・ 学校関係 ・ 福祉施設関係 ・ 市役所関係 ・ 一般市民
	あわら署	38	1,320	
	丸岡署	27	828	
	三国署	25	574	
	合計	139	3,785	

救助統計

救助統計

救助概況

(件)

種別 区分		火	交	水	自	機	建	ガ	爆	そ	合
		災	通	難	然	械	物	ス	発	事	計
		火	通	難	然	械	建	ガ	爆	そ	合
		災	事	事	災	に	物	ス	発	事	計
		災	故	故	害	よ	等	お	事	の	計
		災	故	故	害	る	に	よ	故	の	計
		災	故	故	害	る	よ	び	故	の	計
出場 件数	嶺北署		10	1		1		1		2	15
	あわら署		13			2				3	18
	丸岡署		11	1						2	14
	三国署		6	11				2		10	29
	高速		7								7
	その他										
小計		0	47	13	0	3	0	3	0	17	83
活動件数			30	11		1		2		10	54
救助人員			36	11		1		2		10	60
出場 隊員	救助隊員		253	78		18		17		96	462
	消防隊員		10	14						12	36
	救急隊員		139	31		6		6		34	216
	小計	0	402	123	0	24	0	23	0	142	714
出場 車両	救助工作車		47	13		3		3		17	83
	ポンプ車		9	11						8	28
	救急車		58	11		3		3		17	92
	その他		10	2		1				2	15
	小計	0	124	37	0	7	0	6	0	44	218

救助出場推移

(件)

種別 区分	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガスおよび酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
平成15年		16	1		2				1	20
平成16年		29			2				1	32
平成17年		33	1		2				3	39
平成18年		54	4		5	2			16	81
平成19年		50	5		4				27	86
平成20年		49	6		2				26	83
平成21年		45	8		1				28	82
平成22年	2	42	7		3	1			24	79
平成23年		42	9		4	1			26	82
平成24年		47	7		2		1		12	69
平成25年		47	13		3		3		17	83

消防団

消防団

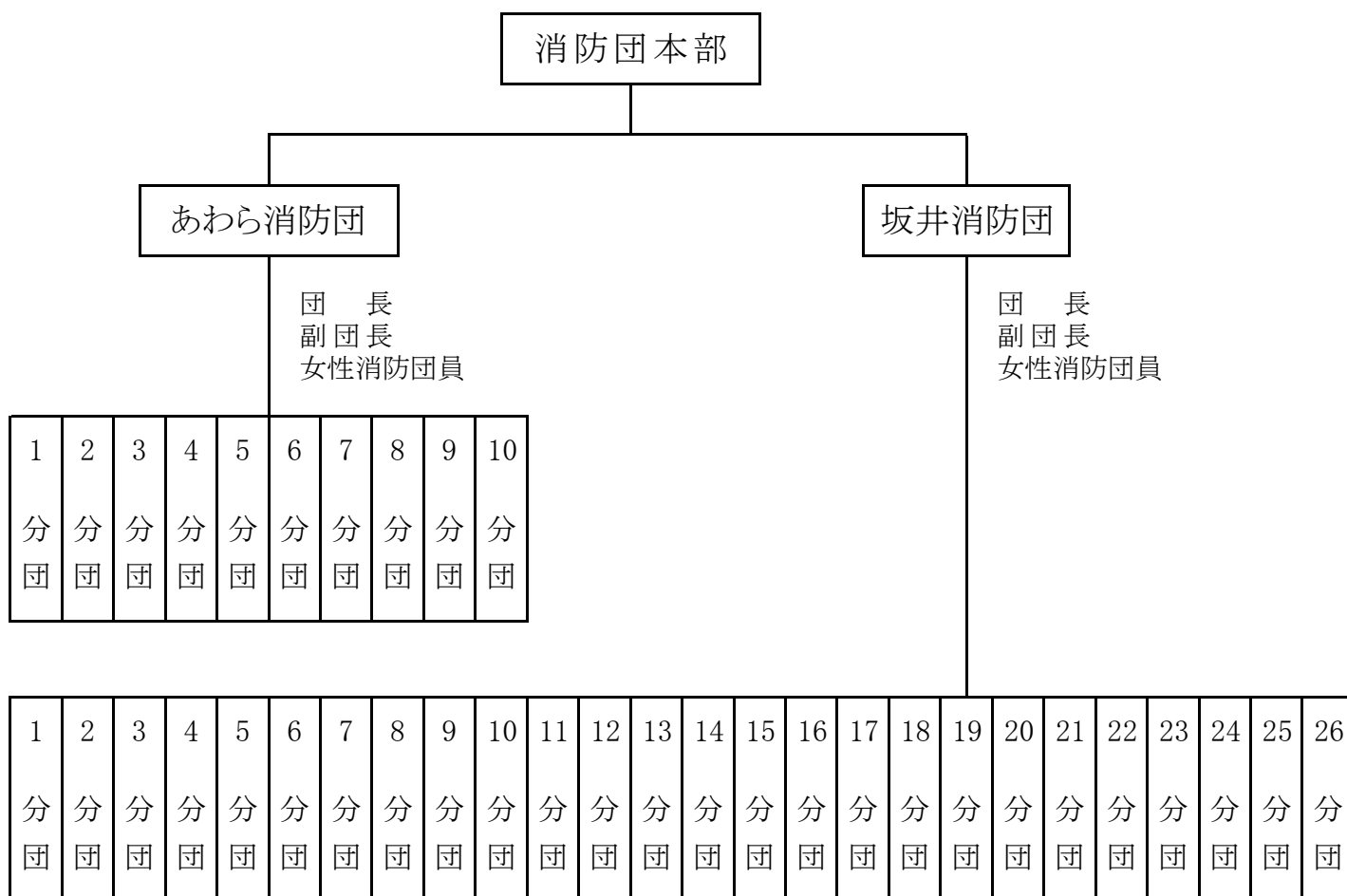


あわら消防団
団長 山口 透
平成24年4月1日～



坂井消防団
団長 松本富男
平成24年4月1日～

消防団組織機構図



消防団員数

(平成26年4月1日現在)

階級別 団別定数		現 在 員							
		合計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
あわら消防団	264	258(6)	1	4	10	16	1(1)	19(1)	207(4)
坂井消防団	509	481(20)	1	4	26	36	1(1)	46(2)	367(17)
合 計	773	739(26)	2	8	36	52	2(2)	65(3)	574(21)

※()は女性消防団員

消防団員勤続年数

(平成26年4月1日現在)

勤続年数	あわら消防団	坂井消防団	合計
5年未満	67	96	163
5年以上～10年未満	56	120	176
10年以上～15年未満	47	80	127
15年以上～20年未満	44	78	122
20年以上～25年未満	22	53	75
25年以上～30年未満	16	32	48
30年以上	6	22	28
合計	258	481	739

消防団員年齢状況

(平成26年4月1日現在)

年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
21才未満								0
21才～25才							9	9
26才～30才							32	32
31才～35才						1	84	85
36才～40才						4	142	146
41才～45才			2	7		13	134	156
46才～50才			5	15		21	90	131
51才～55才	1		9	17	2	15	59	103
56才以上	1	8	20	13		11	24	77
合計	2	8	36	52	2	65	574	739

保有消防車両一覧

(平成26年4月1日現在)

団名	分団名	配置場所	シャーシ	年 式	ポ ン プ		小 型 ポ ン プ	
			メーカー		メーカー	級 別	メーカー	級 別
あ	第1分団	舟津三丁目	トヨタ	平成26年	モリタ	A-2		
			いすゞ	平成20年	多機能型消防車		トーハツ	B-2
わ	第2分団	北 潟	ニッサン	平成6年	モリタ	A-2		
		波 松	トヨタ	昭和62年			トーハツ	B-3
ら	第3分団	吉 崎	トヨタ	平成25年	モリタ	A-2	シバウラ	B-3
	第4分団	滝	トヨタ	平成22年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
ら	第5分団	北	トヨタ	平成9年	日本機械	A-2	シバウラ	C-1
	第6分団	櫛	ニッサン	平成5年	日本機械	A-2	シバウラ	C-1
ら	第7分団	清 間	トヨタ	平成23年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
	第8分団	春宮一丁目	三 菱	平成8年	日本機械	A-2	シバウラ	B-3
団	第9分団	中番・下番入会地	日 野	平成20年	モリタ	A-2	トーハツ	B-3
		中 浜	三 菱	平成15年			トーハツ	B-2
団	第10分団	番 田	日 野	平成19年	モリタ	A-2	トーハツ	B-3

坂	第1分団	上金屋	トヨタ	平成6年	モリタ	A-2		
		友 末	トヨタ	平成16年			トーハツ	B-2
井	第2分団	山竹田	トヨタ	平成9年	モリタ	A-2		
		上竹田	トヨタ	平成3年			トーハツ	B-2
井	第3分団	山竹田	トヨタ	昭和61年			シバウラ	B-3
		愛 宕	トヨタ	平成4年	モリタ	A-2		
井	第4分団	下長畝	トヨタ	平成10年			ラビット	B-2
		本 町	トヨタ	平成6年	モリタ	A-2		
団	第5分団	寅 国	トヨタ	平成23年	モリタ	A-2		
		板 倉	ニッサン	平成17年			シバウラ	B-2
団	第6分団	舟 寄	トヨタ	平成15年			シバウラ	B-2
		下安田	トヨタ	平成6年	モリタ	A-2		
団	第6分団	今 市	トヨタ	平成6年			トーハツ	B-2

坂井団	第7分団	中筋	ニッサン	平成3年	日本機械	A-2	シバウラ	C-1
	第8分団	江留上昭和	トヨタ	平成26年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
	第9分団	江留中	ニッサン	平成3年	日本機械	A-2	シバウラ	C-1
	第10分団	松木	トヨタ	平成23年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
	第11分団	上小森	ニッサン	平成4年	日本機械	A-2	シバウラ	C-1
	第12分団	上兵庫	トヨタ	平成22年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
	第13分団	長畑	トヨタ	平成26年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
	第14分団	東	日野	平成20年	モリタ	A-2	シバウラ	C-1
	第15分団	高柳	トヨタ	平成8年	日本機械	A-2	シバウラ	C-1
	第16分団	池見	ニッサン	平成4年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第17分団	下野	トヨタ	平成9年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第18分団	黒目	ニッサン	平成4年	モリタ	A-2	シバウラ	B-2
	第19分団	新保	ニッサン	平成3年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第20分団	宿	ニッサン	平成5年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第21分団	安島	ニッサン	平成6年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第22分団	崎	トヨタ	平成10年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第23分団	池上	いすゞ	平成14年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第24分団	加戸	ニッサン	平成8年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第25分団	西今市	ニッサン	平成8年	日本機械	A-2	シバウラ	B-2
	第26分団	錦	トヨタ	平成9年	モリタ	A-2	シバウラ	B-2

消防団員の報酬

階級	報酬区分	職務報酬		出場勤務報酬	
		金額 (円)	金額 (円)	回数	
団長		136,000	2,200	15	
副団長		98,000	2,200	13	
分団長		79,000	2,200	10	
副分団長		67,000	2,200	10	
部長		39,000	2,200	8	
班長		31,000	2,200	8	
団員		21,000	2,200	8	
機関員		15,000			



關係團體

關係團體

婦人防火クラブ・婦人消防隊

■ クラブの現況

(平成26年4月1日現在)

クラブの名称	クラブ結成年月日	クラブ員数	備考
あわら市婦人防火クラブ	昭和55年5月25日	283人	平成16年4月18日再編成
坂井市婦人防火クラブ	昭和40年4月1日	389人	平成18年4月9日再編成

■ 各クラブ会長

あわら市婦人防火クラブ 佐孝 邦子 (平成16年4月～)

坂井市婦人防火クラブ 田中 千賀子 (平成18年4月～)

■ 活動状況

- ・ 婦人防火クラブ役員視察研修
- ・ 女性消火技術大会参加 (各種目により消火技術を競う)
- ・ 防火・防災研修会
- ・ 秋季火災予防運動期間中の広報活動 (各幼年消防クラブを訪問、園児に防火の呼びかけ)
- ・ 1日婦人消防官 (立入検査及び広報パレード)



幼年・少年消防クラブ

■ クラブの現況

(平成26年4月1日現在)

クラブの名称	クラブ結成年月日	クラブ員数	指導員数
あわら市幼年消防クラブ	昭和56年10月1日	953人	16人
坂井市幼年消防クラブ	昭和56年10月1日	3,012人	39人
あわら市少年消防クラブ	昭和48年6月7日	152人	10人
坂井市少年消防クラブ	昭和48年11月15日	672人	22人

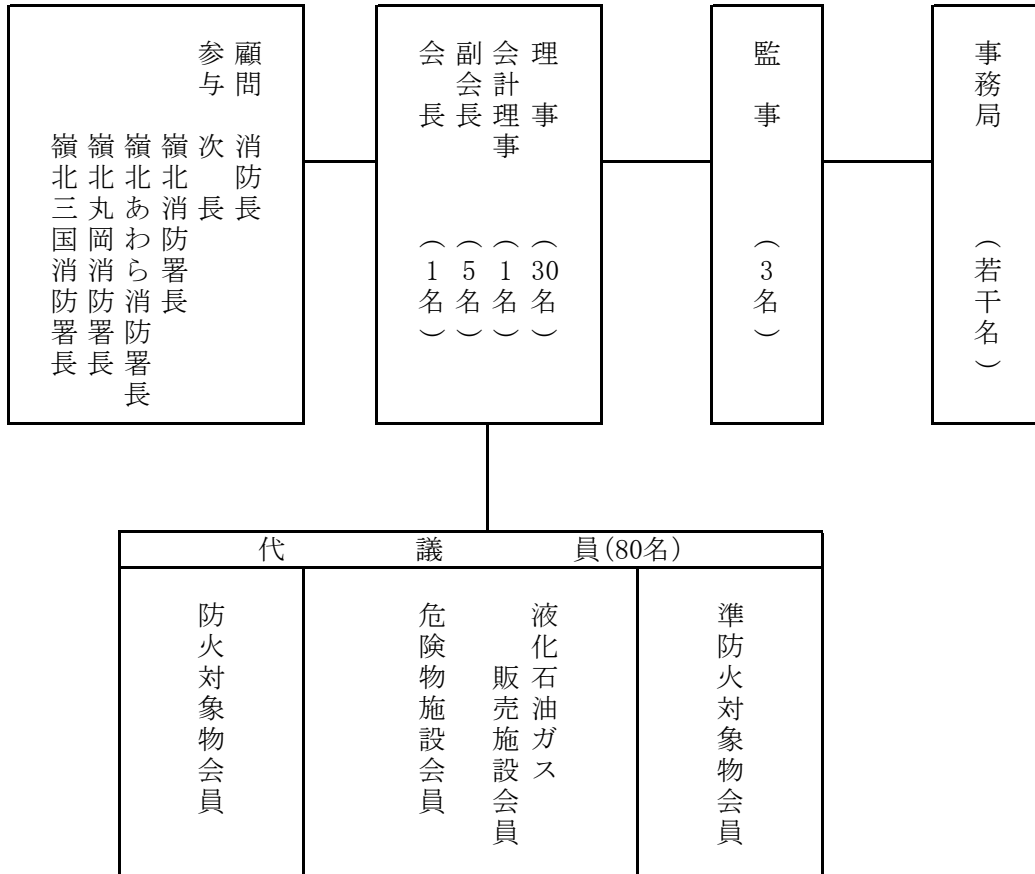
■ 活動状況

- ・ 防火立看板の作成、設置
- ・ 自作ポスターによる住民PR（各市文化祭展示）
- ・ 防火チラシなどの配布
- ・ 防火パレード（火災予防運動の一環）
- ・ 各クラブごとの防火教室
- ・ 街頭広報（火災予防運動の一環）
- ・ 救助訓練の見学
- ・ のぼり旗の掲示広報及びハッピー通園
- ・ 火の用心豆まき



嶺北防火協会

■嶺北防火協会組織図



■防火協会会員数

(平成26年4月1日現在)

市別	法8条	法11条	L P G	準防火	合計
あわら市	169	31	3	117	320
坂井市	368	108	37	198	711
合計	537	139	40	315	1,031

■ 主な事業内容

- 4月 ◎ 総会
- 4月 ◎ 福井県危険物安全協会連合会理事会
- 4月 ◎ 防火管理資格付与講習会案内(関係会員事業所)
- 6月 ◎ 第1回防火管理者資格付与講習会
- 6月 ◎ 防火作文、防火標語の募集(事業所・各学校・一般)
- 7月 ◎ 機関紙発行(会員、全世帯配布)
- 7月 ◎ 先進地視察研修
- 8月 ◎ 第1回乙4危険物取扱者試験受験準備講習会案内(関係会員事業所)
- 8月 ◎ 自衛消防操法大会(各種目にて消火技術を競う)
- 8月 ◎ 危険物保安講習・甲種防火管理者再講習会案内
- 9月 ◎ 危険物保安講習・第1回乙4危険物取扱者試験受験準備講習会
- 10月 ◎ 甲種防火管理者再講習会・第2回防火管理者資格付与講習会
- 11月 ◎ 機関紙発行(会員、全世帯配布)
- 11月 ◎ 秋季火災予防運動期間中の広報活動
(各幼年消防クラブを防火訪問、園児に防火の呼びかけ)
- 11月 ◎ 防火作文、防火標語優秀作品表彰式
- 11月 ◎ 防火管理実務講習会
- 11月 ◎ 第2回乙4危険物取扱者試験受験準備講習会案内(関係会員事業所)
- 12月 ◎ 防火カレンダー作成配布
- 1月 ◎ 第2回乙4危険物取扱者試験受験準備講習会
- 2月 ◎ 福井県防火団体連絡協議会定例会
- 3月 ◎ 春季火災予防運動期間中の広報活動
- 3月 ◎ 機関紙発行(会員、全世帯配布)
- 3月 ◎ 危険物取扱者実務講習会



平成26年度 全国統一標語

もういいかい

火を消すまでは

まあだだよ